

図書館だより

今月の新刊を紹介します。

問 タルイピアセンター ☎23-3746 FAX 23-3745

開館時間：午前10時～午後6時

休館日：7/7(月)、14(月)、22(火)、28(月)、31(木)

うめぼしつくったよ

(内野美恵監修、ひさかたチャイルド)



男の子がおばあちゃんと、うめぼしづくりをはじめます。うめを洗ってへたをとったら、塩といっしょに大きな瓶へ。毎日、瓶をふっていると、うめから汁が出てきて…。キッチンでできる自然体験、うめぼしづくりを描いた本。

そして砂漠は消える

(マリー・パヴレンコ作、河野万里子訳、静山社)



ほとんどの生き物が砂漠に飲みこまれた世界で、残った木々を“狩り”、それを売って暮らす遊牧の民。木を“狩る”ハンターは男の仕事という掟をやぶって、少女サマアは一人旅立つ。孤独な闘いの果てに出会う、命と希望の物語。

乱歩と千畝 —RAMPOとSEMPO—

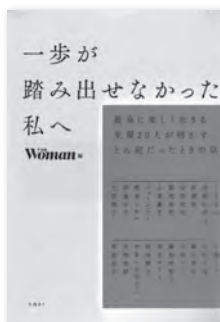
(青柳碧人、新潮社)



巨匠・江戸川乱歩と、ユダヤ人を救った外交官・杉原千畝。まだ何者でもなかったふたりは希望と不安を抱え、浅草の猥雑な路地を歩き語り合い…。斬新な発想で描く波瀾万丈の物語。『yomyom』連載を単行本化。

一步が踏み出せなかった私へ

(I K K Oほか、日経BP)



ビジネス、文化・芸能など、さまざまなジャンルの第一線で活躍する先輩たちが、迷いの渦中にいる働く女性たちへ、自身の経験を踏まえヒントやアドバイスを送る。『日経ウーマン』連載「妹たちへ」を加筆・編集。

お知らせ

- ▶テーマ展示「カガクはイカが?」「パチリ!しゃしんえほん」「全国安全週間」
- ▶絵本のよみきかせ会 毎週土曜日 午後2時から
- ▶としょかんスタンプラリー ～7/27(日)
- ▶図書館利用の際には、マイバッグをお持ちください。
- ▶学習室の利用ができます。 ※午前10時から午後5時まで(受付・予約不要)

入館者数と貸出冊数

R7. 5月	入館者数	6,028人
	貸出冊数	12,347冊

紹介文：TRC MARC

歴史探訪

似てるかな?

右の写真は何だろう?

夏休み子ども講座に参加した小学生に質問をすると、ほとんどの子が「キセル」と回答します。

キセルは左の写真です。右のものと比べてみると、両端に金属製の部品があり、まん中には竹の管が通っています。片側がタバコを詰める火皿となり、もう一方が吸い口となっています。

それでは、右側は何の道具かというと、「矢立」という昔の筆記用具です。全体が金属でできており、片側には墨壺、中央の筒状部分の中心が空洞になっていて、筆が入られるようになっています。また、非常にコンパクトで機能的な筆入れになっています。

これらの道具は、全体的なフォルムが似ていますが、細かく見ていくと違いが分かります。

このような昔の道具に触れられる夏休み子ども講座を開催します。興味のある小学校3年生から6年生のお子さんはぜひご参加ください。



▲キセル



▲矢立

『垂井町史』通史編・史料編

タルイピアセンター、役場会計窓口、文化会館で販売中 各4,000円